

第57回 中日理論言語学研究会@オンライン

2023年01月23日(日)

西日本諸方言におけるアスペクト形式の文法化 —ムード化と待遇化を分ける動機の相違—

鴨井 修平

同志社大学大学院

本研究は、JSPS科研費(課題番号:19H01261・研究代表者:沈力)の助成を受けている。

1. 研究背景

▶ 文法化とTAMの階層構造

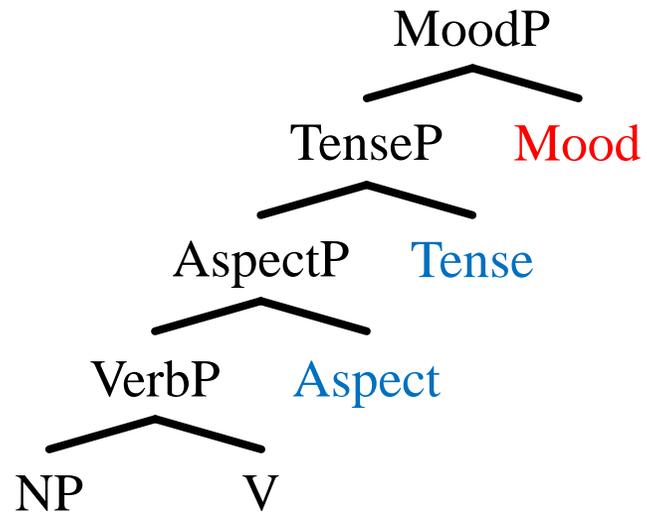


図1 TAMの階層構造

? 文法化の動機

ムード・モダリティを標示する文法形式

文法化の一方向性

テンス・アスペクトを標示する文法形式

(cf. Hopper & Traugott 1993, Bybee et al. 1994)

1. 研究背景

1.1. 中国語におけるアスペクト形式の文法化

▶ 「着 (ZHE)」の文法化 (沈 2008)

▶ 平遥方言におけるZHE1とZHE2の機能対立

(1) a. $u\Lambda?_{23}-t\epsilon ia_{13}=ti\Lambda?_{54} xu\Upsilon_{13}-ts\Lambda?_{23} tsu\Lambda?_{54}-ti\Lambda?_{54} \quad t\Upsilon\eta_{13}=li\Lambda?_{23} / *tsu\Lambda?_{54} t\Upsilon\eta_{13}=ti\Lambda?_{54}=li\Lambda?_{23}.$

3SG=GEN house tern-on-ZHE1 light=SFP / tern-on light=ZHE2=SFP

「彼の家には電気が点いている。」

b. $u\Lambda?_{23}-t\epsilon ia_{13} t\Upsilon_{h}\Lambda?_{32} xuan\eta_{35}=ti\Lambda?_{54}=li\Lambda?_{23} / *t\Upsilon_{h}\Lambda?_{32}-ti\Lambda?_{54} xuan\eta_{35}=li\Lambda?_{23}.$

3SG eat food=ZHE2=SFP / eat-ZHE1 food=SFP

「彼はご飯を食べている。」

1. 研究背景

1.1. 中国語におけるアスペクト形式の文法化

▶ 「着 (ZHE)」の文法化 (沈 2008)

▶ 蒲県方言におけるZHE1とZHE2の機能重複

(2) a. t_ha₅₁ xa₃₃ k_hai₅₁-t_ʂə meĩ₁₃=li. / #k_hai₅₁ me ĩ₁₃=t_ʂə=li.

3SG house open-ZHE1 door=SFP / open door=ZHE2=SFP

「彼の家はドアが開いている。」

b. t_ha₅₁ t_ʂəŋ₃₃ t_ʂŋ₅₁-t_ʂə fã₃₃=li. / #t_ʂŋ₅₁ fã₃₃=t_ʂə=li.

3SG just eat-ZHE1 food=SFP / eat food=ZHE2=SFP

「彼はご飯を食べている。」

1. 研究背景

1.1. 中国語におけるアスペクト形式の文法化

▶ 「着 (ZHE)」の文法化 (沈 2008)

▶ 蒲県方言におけるZHE2のムード機能

(3) a. tʂə₅₁ua₁₃ t_hiɛ₁₁ ʂuə₂₅₁=tʂə=li.

this child listen denotation=**ZHE2**=SFP

「この子は言うことをよく聞いてくれるんだ。」

b. *tʂaŋ₁₃-saŋ₁₃ t_hiŋ₁₃ suΛ₂₃=tiΛ₅₄=liΛ₂₃.

Zhan-san listen denotation=**ZHE2**=SFP

「張三は言うことをよく聞いてくれるんだ。」

(3a) 蒲県方言のZHE2
“事実確認”のムード機能あり

(3b) 平遥方言のZHE2
“事実確認”のムード機能なし

1. 研究背景

1.1. 中国語におけるアスペクト形式の文法化

▶ 「着 (ZHE)」の文法化 (沈 2008)

▶ 北京語のアスペクト形式ZHE1とムード形式ZHE2

(4) a. t_ha₅₅ tɕia₅₅ tian₂₁₄-tʂɤ tʂŋ₅₅=nɤ. / *tian₂₁₄ tʂŋ₅₅=tʂɤ-nɤ.

3SG home tern-on-ZHE1 light=SFP / tern-on light=ZHE2-SFP

「彼の家には電気が点いている。」

b. t_ha₅₅ tʂŋŋ₅₁ tɕh₁₅₅-tʂɤ fan₅₁=nɤ. / *tɕh₁₅₅ fan₅₁=tʂɤ-nɤ.

3SG just eat-ZHE1 food=SFP / eat food=ZHE2-SFP

「彼はご飯を食べている。」

1. 研究背景

1.1. 中国語におけるアスペクト形式の文法化

▶ 「着 (ZHE)」の文法化 (沈 2008)

▶ 北京語のアスペクト形式ZHE1とムード形式ZHE2

(5) tʂʰ₅₁ xai₃₅-tsɿ t_hiŋ₅₅ ʂuo₅₅=tʂʰ-nɿ.

this child listen denotation=**ZHE2**-SFP

「この子は言うことをよく聞いてくれるんだ。」

北京語のZHE1

ムード機能のないアスペクト形式

北京語のZHE2

アスペクト機能のないムード形式

1. 研究背景

1.1. 中国語におけるアスペクト形式の文法化

▶ 「着 (ZHE)」の文法化 (沈 2008)

▶ 中国語におけるアスペクト形式の文法化プロセス

- ① ZHE1とZHE2の機能対立 (ZHE1-結果相・ZHE2-進行相)
- ② ZHE1とZHE2の機能重複 (ZHE1-結果相/進行相・ZHE2-進行相/事実確認)
- ③ ZHE2のアスペクト機能消失 (ZHE1-結果相/進行相・ZHE2-事実確認)

ZHE2の文法化は, ZHE1との機能重複という余剰性を解消するために発生した。

(cf. 言語経済の原理 (Martinet 1962))

1. 研究背景

1.2. 日本語におけるアスペクト形式の文法化

▶ 日本語のアスペクト体系

表1 日本語のアスペクト体系

標準語における二項対立			
	完結相	非完結相	
現在	ル	テイル	
過去	タ	テイタ	
西日本諸方言における三項対立			
	完結相	進行相	結果相
現在	ル	ヨル	トル
過去	タ	ヨッタ	トッタ

(cf. Comrie 1976, 寺村 1984, 工藤1995)



図2 アスペクトの表現方法における東西境界
(国立国語研究所 1999『方言文法全国地図 第198図』)

1. 研究背景

1.2. 日本語におけるアスペクト形式の文法化

▶ 東日本諸方言(東京方言)のアスペクト形式

(6) a. neko=ga sakana tabe=**teru**.

猫=NOM 魚 食べる=**PROG.NPST**

「猫が魚を食べている。」

b. neko=ga sakana tabe=**teru**.

猫=NOM 魚 食べる=**RES.NPST**

「猫が魚を食べ終えている。」

進行相と結果相を1形式で標示する

▶ 西日本諸方言(高知方言)のアスペクト形式

(7) a. neko=ga sakana tabe=**juu**.

猫=NOM 魚 食べる=**PROG.NPST**

「猫が魚を食べている。」

b. neko=ga sakana tabe=**tcuu**.

猫=NOM 魚 食べる=**RES.NPST**

「猫が魚を食べ終えている。」

進行相と結果相を2形式で区別する

1. 研究背景

1.2. 日本語におけるアスペクト形式の文法化

▶ 日本語のアスペクト形式

TERU

【形態】 *-te=(i)-* (-e/i-te=i-ru)

【音声】 [-teru]

YORU

【形態】 *-jor-* (-e/i-or-u)

【音声】 [-jooru], [-joo], [-juu]..

TORU

【形態】 *-tor-* (-e/i-te-or-u)

【音声】 [-tooru], [-too], [-tɔ̃uu]..

1.2. 日本語におけるアスペクト形式の文法化

1.2.1. 西日本諸方言におけるアスペクト形式の文法化

▶ YORUのムード化とTORUへの一本化（工藤 2014）

▶ 愛媛県宇和島市方言におけるYORUとTORUの機能対立

(8) a. 猫が障子, **破りよる**。おっばらいさい。

「猫が障子(を), (今)破っている。追っ払いなさい。」

b. 猫が障子, **破っとる**。張り替えないけん。

「猫が障子(を), (既に)破っている。張り替えないといけない。」

1.2. 日本語におけるアスペクト形式の文法化

1.2.1. 西日本諸方言におけるアスペクト形式の文法化

▶ YORUのムード化とTORUへの一本化（工藤 2014）

▶ 福岡県北九州市方言におけるYORUとTORUの機能重複とムード機能

(9) (どこからか鳥の鳴き声が聞こえて。)

ドッカデトリガ ナキヨルヨ。 / ナイトルヨ。

「どこかで鳥が鳴いているよ。」

(10) (目の前で太郎(赤ちゃん)が泣いているのを見て。)

タローチャンガ ナキヨルヨ。 / ?ナイトルヨ。

「太郎ちゃんが泣いているよ。」

福岡県北九州市方言のYORU
“証拠性”のムード機能あり

1.2. 日本語におけるアスペクト形式の文法化

1.2.1. 西日本諸方言におけるアスペクト形式の文法化

▶ YORUのムード化とTORUへの一本化（工藤 2014）

▶ 西日本諸方言におけるアスペクト形式の文法化プロセス

① YORUとTORUの機能対立（YORU-進行相・TORU-結果相）

② YORUとTORUの機能重複（YORU-進行相/証拠性・TORU-進行相/結果相）

YORUのムード化は, TORUへの一本化に伴って発生した。

（cf. 機能重複）

1.2. 日本語におけるアスペクト形式の文法化

1.2.2. 近畿中央方言におけるアスペクト形式の文法化

▶ YORUの待遇化（井上 1998）

▶ 大阪方言のアスペクト形式TORU/TERUと待遇形式YORU

(11) a. 犬, 鳴いてる。 / #鳴いとる。 / *鳴きよる。

「犬(が)鳴いている。」

b. 車, 止めてる。 / #止めとる。 / *止めよる。

「車(を)止めている。」

(12) 仕事もしないくせに, 飯ばかり, 食いよる。

「仕事もしないくせに, 飯ばかり, 食ってやがる。」

大阪方言のYORU
“卑罵性”の待遇機能あり

1.2. 日本語におけるアスペクト形式の文法化

1.2.2. 近畿中央方言におけるアスペクト形式の文法化

▶ YORUの待遇化（井上 1998）

▶ 近畿中央方言におけるアスペクト形式の文法化プロセス

- ① YORU, TORU, TERU (オル(*or-*)とイル(*i-*))の併用
- ② 「アル (*ar-*)」を本動詞とする形式が, 上位者への待遇機能を獲得
- ③ 「オル」を本動詞とするYORUとTORUが, 下位者への待遇機能を獲得
- ④ 「テ (*te-*)」を介するTORUとTERUがアスペクト形式, YORUが待遇形式として定着

YORUの待遇化は, アスペクト形式の併用によって発生した。

(cf. 機能重複)

2. 研究課題

2.1. 問題提起

▶奈良県十津川村方言のYORU

(13) a. taroo niku jak=jooru.

太郎 肉 焼く=PROG.NPST

「太郎(が)肉(を)焼いている。」

b. taroo niku jak=jootta.

太郎 肉 焼く=PROG.PST

「太郎(が)肉(を)焼いていた。」

▶京都府福知山方言のYORU

(14) a. taroo niku jaki=joru.

太郎 肉 焼く=PROSP.NPST

「太郎(が)肉(を)焼こうとしている。」

b. taroo niku jaki=jotta.

太郎 肉 焼く=PROSP.PST

「太郎(が)肉(を)焼こうとしていた。」

近畿中央方言に隣接する方言のYORUはアスペクトを標示する

2. 研究課題

2.1. 問題提起

▶ 奈良県奈良市方言のYORU

(15) a. taroo niku jak=joru.

太郎 肉 焼く=PJR.NPST

「太郎(が)肉(を)焼きやがる。」

b. taroo niku jaki=jotta.

太郎 肉 焼く=PJR.PRF

「太郎(が)肉(を)焼きやがった。」

▶ 京都府京都市方言のYORU

(16) a. taroo niku jak=joru.

太郎 肉 焼く=PJR.NPST

「太郎(が)肉(を)焼きやがる。」

b. taroo niku jaki=jotta.

太郎 肉 焼く=PJR.PRF

「太郎(が)肉(を)焼きやがった。」

近畿中央方言のYORUは卑罵性を標示する

2. 研究課題

2.1. 問題提起

▶近畿中央方言におけるYORUの制限

(17) a. *ore niku jak=joru.

1SG 肉 焼く=PJR.NPST

「俺(が)肉(を)焼きやがる。」

b. *omae niku jaki=joru ?

2SG 肉 焼く=PJR.NPST

「おまえ(が)肉(を)焼きやがるのか？」

c. aitsu niku jaki=joru.

3SG 肉 焼く=PJR.NPST

「あいつ(が)肉(を)焼きやがる。」

YORUは3人称主語に限り卑罵性を標示する

2. 研究課題

2.1. 問題提起

▶ アスペクト形式の待遇化

問題提起

近畿中央方言のYORUは、なぜ、卑罵性に向かって待遇化したのだろうか？

▶アスペクトとの関係より...

中国語のZHE2のように、事実確認に向かったムード化は順当である。

西日本諸方言のYORUのように、証拠性に向かったムード化は順当である。

アスペクト形式と卑罵性に関する理論的研究は全く行われていない。

(cf. Abbi & Gopalakrishnan 1991, 影山 2021)

2. 研究課題

2.2. ランキング仮説

▶ 近畿中央方言におけるYORUの待遇化の動機

(18) ランキング仮説

アスペクト形式の待遇化は、形式の機能重複と形式への評価を動機に生じる。

表2 待遇価に基づく形式のランキング

待遇価	形式
High	x
	y
Low	z

話者の発話スタイル

← 最もフォーマルな発話場面で使用される形式

← 最もカジュアルな発話場面で使用される形式

2. 研究課題

2.2. ランキング仮説

▶ 近畿中央方言におけるYORUの待遇化の動機

▶ アスペクト形式の導入

(19) a. **TERU**は標準語テイルの縮約形である。真田(2007: 5)によれば、標準語形は、フォーマルな発話場面で使用される。

b. **TORU**は非標準語である。井上(1998: 154)と中井(2012: 58)によれば、TORUにはぞんざい性(軽卑)の意味がある。

c. **YORU**は非標準語である。井上(1998: 153)と西尾(2015: 85)によれば、YORUには卑罵の意味がある。



待遇価	形式
High	TERU
	TORU
Low	YORU

2. 研究課題

2.2. ランキング仮説

▶ 近畿中央方言におけるYORUの待遇化の動機

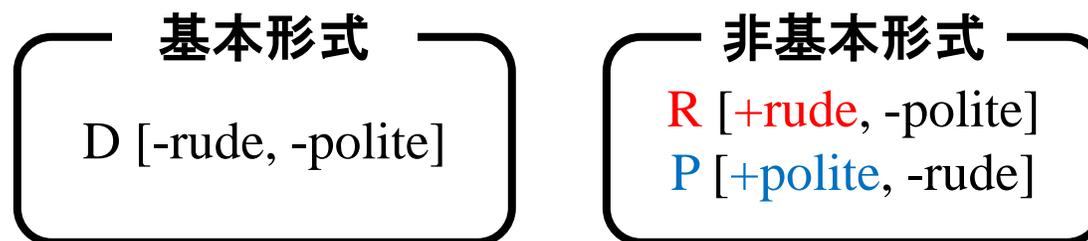


表3 アスペクト形式のランキングと待遇解釈の関係

待遇価	形式	方言I	方言II	方言III
High	TERU	D	P	P
	TORU	R	D	P
Low	YORU	R	R	D

2. 研究課題

2.1. 問題提起

- ▶ アスペクト形式の文法化におけるムード化と待遇化の相違

問題提起

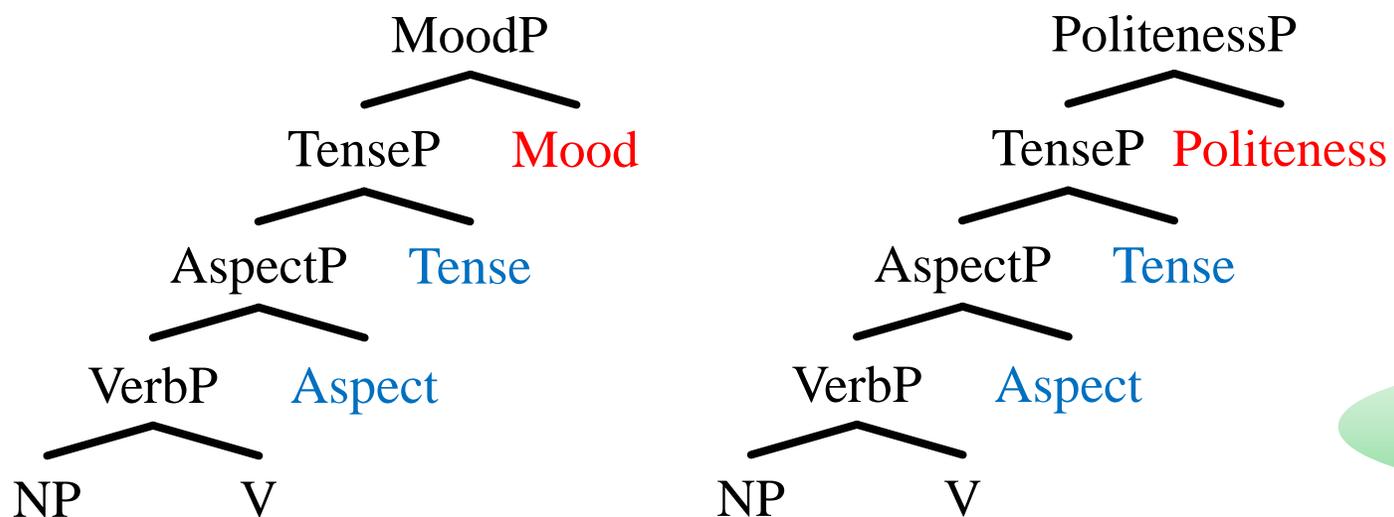
近畿中央方言のYORUは、なぜ、卑罵性に向かって待遇化したのだろうか？



2. 研究課題

2.2. ランキング仮説

- ▶ アスペクト形式の文法化におけるムード化と待遇化の相違



階層構造の相違

図3 TAMの階層構造とTAPの階層構造

3. 研究方法

3.1. データ分析の枠組み

▶ 事態における2種類の時間構造

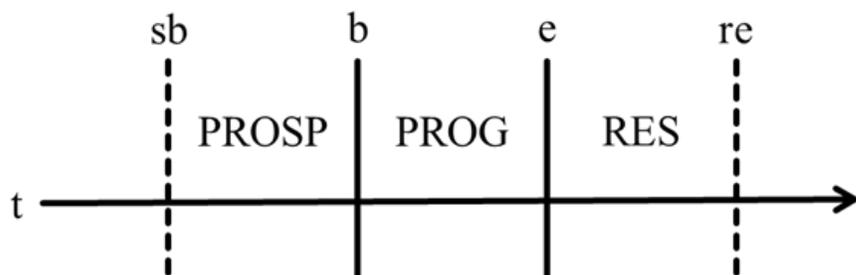


図3 事態 α の時間構造

「魚を食べる」

食卓に着く (PROSP)

>> 魚を口へ運び, 咀嚼する (PROG)

>> 魚を食べ終え, 骨が残る (RES)

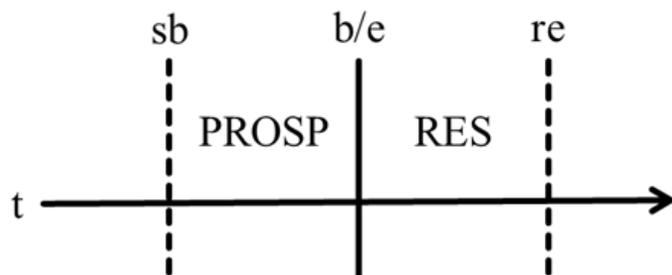


図4 事態 β の時間構造

「椅子に座る」

椅子の前に立ち, 膝を曲げる (PROSP)

>> 椅子にお尻が付き, 姿勢が安定する (RES)

3. 研究方法

3.1. データ分析の枠組み

▶ アスペクト形式における機能重複の種類

(20) アスペクトには、**将然相 >> 進行相 >> 結果相**という連続性がある。

- a. **将然相あるいは進行相あるいは結果相のような1つのアスペクト上における機能重複があり得る。**
- b. **将然相と進行相あるいは進行相と結果相あるいは将然相と進行相と結果相のような連続的なアスペクト上における機能重複があり得る。**
- c. **将然相と結果相のような非連続的なアスペクト上における機能重複はあり得ない。**

3. 研究方法

3.1. データ分析の枠組み

▶ アスペクト形式における機能重複の種類

表4 事態 α における機能重複の種類

A			B			C		
PROSP	PROG	RES	PROSP	PROG	RES	PROSP	PROG	RES
1	0	0	0	1	0	0	0	1

D			E			F		
PROSP	PROG	RES	PROSP	PROG	RES	PROSP	PROG	RES
1	1	0	0	1	1	1	1	1

表5 事態 β における機能重複の種類

A		B	
PROSP	RES	PROSP	RES
1	0	0	1

3. 研究方法

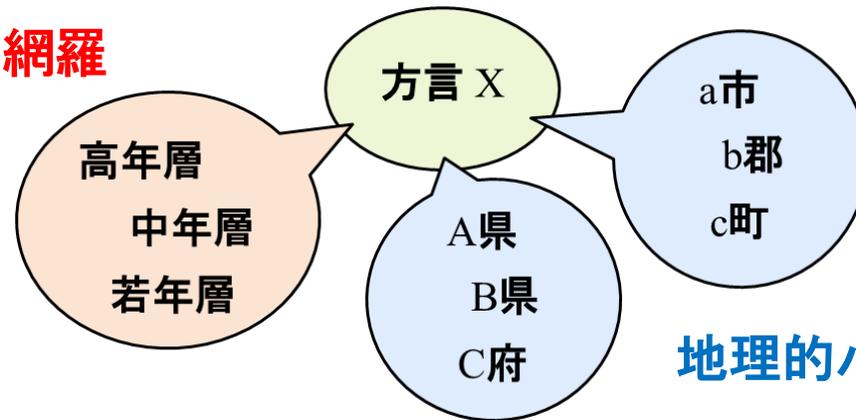
3.2. データ収集の枠組み

▶ 方言データの収集

▶ 広範囲の年層・地点を対象とした網羅的なインタビュー調査

時間的バリエーションの網羅

- 高年層:70歳-
- 中年層:40-69歳
- 若年層:18-39歳



地理的バリエーションの網羅

図6 方言Xの構成イメージ

4. 西日本諸方言のアスペクト体系

表6 各方言のインフォーマント数

府県	方言	高年層	中年層	若年層	合計
大阪府	大阪方言	24	19	39	82
京都府	山城方言	5	13	17	35
	丹波方言	5	5	5	15
	丹後方言	7	5	5	17
滋賀県	滋賀方言	17	15	46	78
奈良県	北部方言	15	12	24	51
	南部方言	6	7	6	19
兵庫県	摂津播磨方言	11	12	16	39
	淡路方言	6	5	5	16
	但馬方言	6	4	7	17
	丹波方言	4	3	5	12
三重県	北部方言	17	13	18	48
	南部方言	10	10	9	29
岡山県	岡山方言	20	20	20	60
島根県	出雲隠岐方言	15	12	15	42
	石見方言	6	6	8	20

鳥取県	東部方言	12	10	15	37
	西伯耆方言	5	5	5	15
広島県	広島方言	17	24	14	55
山口県	山口方言	21	20	24	65
高知県	高知方言	16	14	20	50
徳島県	徳島方言	31	36	37	104
愛知県	愛知方言	16	27	47	90
岐阜県	飛騨方言	6	6	6	18
	美濃方言	8	10	11	29
長野県	北部方言	20	17	24	61
	南部方言	5	5	5	15
福井県	嶺南方言	8	8	11	27
	嶺北西部方言	7	9	17	33
	嶺北東部方言	7	8	8	23
合計		353	360	489	1202

4.1. 近畿地方の諸方言データ

4.1.1. 大阪方言のアスペクト体系

▶ 大阪方言のデータ

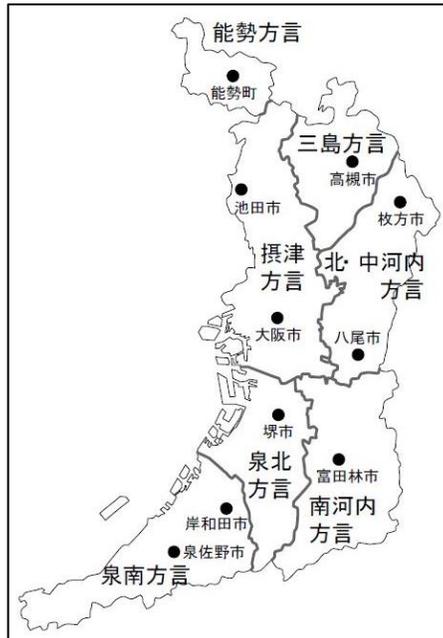


図8 大阪方言の区画

大阪方言

└ 摂津方言

└ 摂津方言 / 三島方言 / 能勢方言

└ 河内方言

└ 北・中河内方言 / 南河内方言

└ 和泉方言

└ 泉北方言 / 泉南方言

▶ 大阪摂津方言のデータ

(22) a. (運動場に行くと, スタートラインに立ち, 手首足首を回している太郎がいた)

taroo *hasiri=joru. / *hasit=toru. / *hasit=teru.

太郎 走る=PJR.NPST / 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎(は)走ろうとしている。」

b. (運動場に行くと, 走っている最中の太郎がいた)

taroo ima *hasiri=joru. / hasit=toru. / hasit=teru.

太郎 今 走る=PJR.NPST / 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎(は)今, 走っている。」

c. (運動場に行くと, 100m 走を走り終えて休憩している太郎がいた)

taroo moo *hasiri=joru. / hasit=toru. / hasit=teru.

太郎 もう 走る=PJR.NPST / 走る=RES.NPST / 走る=RES.NPST

「太郎(は)もう, 走り終えている。」

表7 事態αの将然相における調査結果－摂津方言の若年層－

Verb	Property	[α] Proposition : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, スタートラインに立ち, 手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)			1	19	20
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, フライパンに油をひき, トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)		4	4	16	
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 空がどんより曇っていて, ジメジメしていた。(雨が降る直前)				20	
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)		4	4	16	

表8 事態αの進行相における調査結果－摂津方言の若年層－

Verb	Property	[α] Proposition : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, 走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)	2	18	20		20
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, 肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)	2	19	20		
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 雨が降ってる最中だった。(雨が降っている最中)	3	19	20		
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)	5	20	17		

表9 事態αの結果相における調査結果－摂津方言の若年層－

Verb	Property	[α] Proposition : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, 100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)	1	19	18	1	20
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, 焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)	1	17	17	3	
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 地面が濡れ, 水たまりができていた。(雨は既に降った後)	1	15	13	5	
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦考えた後)	2	17	17	3	

▶ 大阪摂津方言のデータ

(23) a. (教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出している太郎がいた)

taroo *suwari=joru. / *suwat=toru. / *suwat=teru.

太郎 座る=PJR.NPST / 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎(は)座ろうとしている。」

b. (教室に入ると, 既に席に着いている太郎がいた)

taroo moo *suwari=joru. / suwat=toru. / suwat=teru.

太郎 もう 座る=PJR.NPST / 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎(は)もう, 座っている。」

表10 事態βの将然相における調査結果－摂津方言の若年層－

Verb	Property	[β] Proposition : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)		2	1	18	20
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)		2	1	18	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていつている様子だった。(火が消える直前)				20	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)		1	2	18	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)		1	1	19	

表11 事態βの結果相における調査結果－摂津方言の若年層－

Verb	Property	[β] Proposition : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)	2	18	17	2	20
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		20	20		
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		19	19	1	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		19	17	1	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)	1	19	20		

4.2. 中国地方の諸方言データ

4.2.1. 岡山方言のアスペクト体系

▶ 岡山方言のデータ



図9 岡山方言の区画

岡山方言

└ 備前方言 / 美作方言 / 備中北部方言 / 備中南部方言

▶ 岡山方言のデータ

(24) a. (運動場に行くと、スタートラインに立ち、手首足首を回している太郎がいた)

taroo hasir=jooru. / hasit=toru.

太郎 走る=PROSP.NPST / 走る=PROSP.NPST

「太郎(は)走ろうとしている。」

b. (運動場に行くと、走っている最中の太郎がいた)

taroo ima hasir=jooru. / hasit=toru.

太郎 今 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎(は)今、走っている。」

c. (運動場に行くと、100m走を走り終えて休憩している太郎がいた)

taroo moo *hasir=jooru. / hasit=toru.

太郎 もう 走る=PROG.NPST / 走る=RES.NPST

「太郎(は)もう、走り終えている。」

表12 事態 α の将然相における調査結果—岡山方言の若年層—

Verb	Property	[α] Proposition : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, スタートラインに立ち, 手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)	20	12			20
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, フライパンに油をひき, トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	20	14			
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 空がどんより曇っていて, ジメジメしていた。(雨が降る直前)				20	
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	20	12			

表13 事態 α の進行相における調査結果—岡山方言の若年層—

Verb	Property	[α] Proposition : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, 走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)	20	20			20
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, 肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)	20	20			
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 雨が降ってる最中だった。(雨が降っている最中)	20	20			
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)	20	20			

表14 事態 α の結果相における調査結果—岡山方言の若年層—

Verb	Property	[α] Proposition : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, 100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		20			20
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, 焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		20			
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 地面が濡れ, 水たまりができていた。(雨は既に降った後)		20			
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦を考えた後)		20			

▶ 岡山方言のデータ

(25) a. (教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出している太郎がいた)

taroo suwar=jooru. / *suwat=toru.

太郎 座る=PROSP.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎(は)座ろうとしている。」

b. (教室に入ると, 既に席に着いている太郎がいた)

taroo moo *suwar=jooru. / suwat=toru.

太郎 もう 座る=PROSP.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎(は)もう, 座っている。」

表15 事態βの将然相における調査結果－岡山方言の若年層－

Verb	Property	[β] Proposition : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)	20				20
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	20				
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	20				
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	20				
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	20				

表16 事態βの結果相における調査結果－岡山方言の若年層－

Verb	Property	[β] Proposition : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		20			20
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		20			
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		20			
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		20			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		20			

4.3. 四国地方の諸方言データ

4.3.1. 高知方言のアスペクト体系

▶ 高知方言のデータ

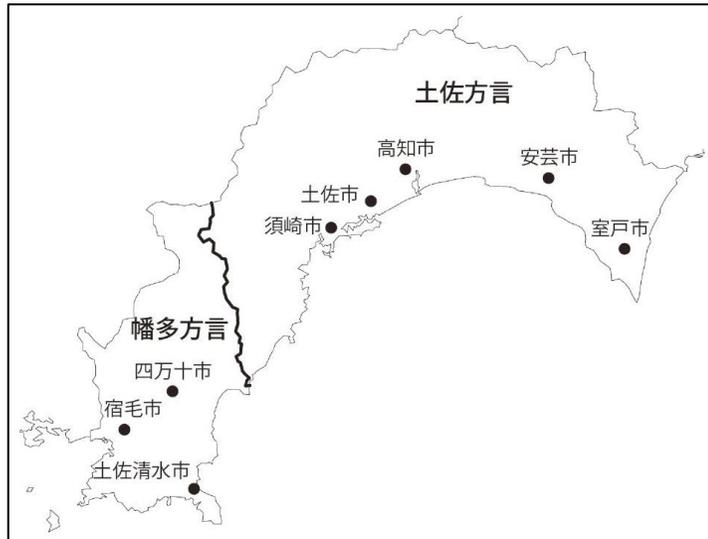


図10 高知方言の区画

高知方言

└ 土佐方言

└ 幡多方言

▶ 高知方言のデータ

(26) a. (運動場に行くと, スタートラインに立ち, 手首足首を回している太郎がいた)

taroo hasiri=juu. / *hasit=tɕuu.

太郎 走る=PROSP.NPST / 走る=RES.NPST

「太郎(は)走ろうとしている。」

b. (運動場に行くと, 走っている最中の太郎がいた)

taroo ima hasiri=juu. / *hasit=tɕuu.

太郎 今 走る=PROG.NPST / 走る=RES.NPST

「太郎(は)今, 走っている。」

c. (運動場に行くと, 100m走を走り終えて休憩している太郎がいた)

taroo moo *hasiri=juu. / hasit=tɕuu.

太郎 もう 走る=PROG.NPST / 走る=RES.NPST

「太郎(は)もう, 走り終えている。」

表17 事態 α の将然相における調査結果－高知方言の若年層－

Verb	Property	[α] Proposition : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, スタートラインに立ち, 手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)	11			9	20
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, フライパンに油をひき, トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)	11			9	
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 空がどんより曇っていて, ジメジメしていた。(雨が降る直前)				20	
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)	11			9	

表18 事態 α の進行相における調査結果－高知方言の若年層－

Verb	Property	[α] Proposition : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, 走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)	20				20
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, 肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)	20				
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 雨が降ってる最中だった。(雨が降っている最中)	20				
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)	20				

表19 事態 α の結果相における調査結果－高知方言の若年層－

Verb	Property	[α] Proposition : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くと, 100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		20			20
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くと, 焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		20			
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 地面が濡れ, 水たまりができていた。(雨は既に降った後)		20			
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦考えた後)		20			

▶ 高知方言のデータ

(27) a. (教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出している太郎がいた)

taroo suwari=juu. / *suwat=teuu.

太郎 座る=PROSP.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎(は)座ろうとしている。」

b. (教室に入ると, 既に席に着いている太郎がいた)

taroo moo *suwari=juu. / suwat=teuu.

太郎 もう 座る=PROSP.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎(は)もう, 座っている。」

表20 事態βの将然相における調査結果－高知方言の若年層－

Verb	Property	[β] Proposition : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)	20				20
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)	20				
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)	20				
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)	20				
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)	20				

表21 事態βの結果相における調査結果－高知方言の若年層－

Verb	Property	[β] Proposition : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		20			
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		20			
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		20			
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		20			
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		20			

4.4. 中部地方の諸方言データ

4.4.1. 愛知方言のアスペクト体系

▶ 愛知方言のデータ



図11 愛知方言の区画

愛知方言

└ 尾張方言

└ 三河方言

└ 西三河方言 / 東三河方言

▶ 愛知尾張方言のデータ

(28) a. (運動場に行くと, スタートラインに立ち, 手首足首を回している太郎がいた)

taroo *hasit=toru. / *hasit=teru.

太郎 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎(は)走ろうとしている。」

b. (運動場に行くと, 走っている最中の太郎がいた)

taroo ima hasit=toru. / hasit=teru.

太郎 今 走る=PROG.NPST / 走る=PROG.NPST

「太郎(は)今, 走っている。」

c. (運動場に行くと, 100m走を走り終えて休憩している太郎がいた)

taroo moo hasit=toru. / hasit=teru.

太郎 もう 走る=RES.NPST / 走る=RES.NPST

「太郎(は)もう, 走り終えている。」

表22 事態 α の将然相における調査結果－尾張方言の若年層－

Verb	Property	[α] Proposition : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くとき, スタートラインに立ち, 手首足首を回しているAがいた。(Aは走る直前)				27	27
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くとき, フライパンに油をひき, トレーから肉を取り出しているAがいた。(Aは肉を焼く直前)		9	8	18	
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 空がどんより曇っていて, ジメジメしていた。(雨が降る直前)				27	
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 机の上の資料に目を通し始めているAがいた。(Aは作戦を考える直前)		12	15	12	

表23 事態 α の進行相における調査結果－尾張方言の若年層－

Verb	Property	[α] Proposition : Progressive	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くとき, 走っている最中のAがいた。(Aは走っている最中)		27	27		27
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くとき, 肉を焼いている最中のAがいた。(Aは肉を焼いている最中)		27	27		
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 雨が降っている最中だった。(雨が降っている最中)		27	27		
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 作戦を考えている最中のAがいた。(Aは作戦を考えている最中)		27	27		

表24 事態 α の結果相における調査結果－尾張方言の若年層－

Verb	Property	[α] Proposition : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
走る	主体動作	放課後, 運動場に行くとき, 100m走を終えて休憩しているAがいた。(Aは既に走った後)		17	12	10	27
焼く	主体動作 客体変化	夕食前, 台所に行くとき, 焼き終えた肉を皿へ移しているAがいた。(Aは既に肉を焼いた後)		8	9	18	
降る	自然現象	朝, 部屋のカーテンを開けると, 地面が濡れ, 水たまりができていた。(雨は既に降った後)		6	4	21	
考える	心理	昼食後, 会議室に入ると, 作戦会議を終えて資料を片付けているAがいた。(Aは既に作戦考えた後)		11	15	12	

▶ 愛知尾張方言のデータ

(29) a. (教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出している太郎がいた)

taroo *suwat=toru. / *suwat=teru.

太郎 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎(は)座ろうとしている。」

b. (教室に入ると, 既に席に着いている太郎がいた)

taroo moo suwat=toru. / suwat=teru.

太郎 もう 座る=RES.NPST / 座る=RES.NPST

「太郎(は)もう, 座っている。」

表25 事態βの将然相における調査結果－尾張方言の若年層－

Verb	Property	[β] Proposition : Realis-Prospective	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 荷物を置いて, 椅子を引き出しているAがいた。(Aは座る直前)				27	27
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ひどく痙攣しているネズミがいた。(ネズミは死ぬ直前)				27	
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, ストープの火がとても弱くなっていて, 消えていっている様子だった。(火が消える直前)		14	13	13	
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープのスイッチに手を伸ばしているAがいた。(Aは火を消す直前)		13	13	14	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雨が上がっていて雨雲の隙間から太陽が見え始めていた。(晴れる直前)				27	

表26 事態βの結果相における調査結果－尾張方言の若年層－

Verb	Property	[β] Proposition : Resultative	YORU	TORU	TERU	n/a	info
座る	主体変化 意志的	朝礼前, 教室に入ると, 既に席に着いているAがいた。(Aは既に座った後)		27	23		27
死ぬ	主体変化 非意志的	朝, 玄関を出ると, ネズミが1匹死んでいた。(ネズミは既に死んだ後)		27	23		
消える	主体変化 無生物	放課後, 教室に入ると, 点いているはずのストーブの火が消えていた。(火は消えた後)		27	21		
消す	主体動作 客体変化	放課後, 教室に入ると, ストープの火を消し終えて換気をしているAがいた。(Aは既に火を消した後)		22	22	5	
晴れる	自然現象	午後, 部屋のカーテンを開けると, 雲ひとつない青空になっていた。(既に晴れた後)		27	23		

4. 西日本諸方言のアスペクト体系

4.5. アスペクト形式の機能重複における類型

表27 事態 α における機能重複の類型

A			B			C \leftarrow		
PROSP \leftarrow	PROG \leftarrow	RES \leftarrow	PROSP \leftarrow	PROG \leftarrow	RES \leftarrow	PROSP \leftarrow	PROG \leftarrow	RES \leftarrow
0 \leftarrow	1 \leftarrow	0 \leftarrow	1 \leftarrow	1 \leftarrow	0 \leftarrow	0 \leftarrow	1 \leftarrow	1 \leftarrow
奈良県_南部方言 \leftarrow			岡山県_岡山方言 \leftarrow			大阪府_大阪方言 \leftarrow		
兵庫県_摂津播磨方言 \leftarrow			\leftarrow			京都府_山城方言 \leftarrow		
兵庫県_淡路方言 \leftarrow			\leftarrow			滋賀県_滋賀方言 \leftarrow		
兵庫県_但馬方言 \leftarrow			\leftarrow			奈良県_北部方言 \leftarrow		
兵庫県_丹波方言 \leftarrow			\leftarrow			三重県_北部方言 \leftarrow		
鳥取県_東部方言 \leftarrow			\leftarrow			三重県_南部方言 \leftarrow		
広島県_広島方言 \leftarrow			\leftarrow			島根県_出雲隠岐方言 \leftarrow		
山口県_山口方言 \leftarrow			\leftarrow			島根県_石見方言 \leftarrow		
徳島県_徳島方言 \leftarrow			\leftarrow			愛知県_愛知方言 \leftarrow		
岐阜県_飛騨方言 \leftarrow			\leftarrow			岐阜県_美濃方言 \leftarrow		
\leftarrow			\leftarrow			長野県_南部方言 \leftarrow		
\leftarrow			\leftarrow			福井県_嶺南方言 \leftarrow		
\leftarrow			\leftarrow			福井県_嶺北西部方言 \leftarrow		

表28 事態 β における機能重複の類型

PROSP \leftarrow	RES \leftarrow
0 \leftarrow	1 \leftarrow
大阪府_大阪方言 \leftarrow	
京都府_山城方言 \leftarrow	
滋賀県_滋賀方言 \leftarrow	
奈良県_北部方言 \leftarrow	
三重県_北部方言 \leftarrow	
三重県_南部方言 \leftarrow	
島根県_出雲隠岐方言 \leftarrow	
島根県_石見方言 \leftarrow	
愛知県_愛知方言 \leftarrow	
岐阜県_美濃方言 \leftarrow	
長野県_南部方言 \leftarrow	
福井県_嶺南方言 \leftarrow	
福井県_嶺北西部方言 \leftarrow	

表29 機能重複が生じない諸方言

京都府_丹波方言 \leftarrow
京都府_丹後方言 \leftarrow
鳥取県_西伯耆方言 \leftarrow
高知県_高知方言 \leftarrow
長野県_北部方言 \leftarrow
福井県_嶺北東部方言 \leftarrow

5. アスペクト形式の待遇解釈

5.1. 機能重複と待遇解釈の関係

- ▶ 高知方言: 聞き手の違いによる形式選択は行われない

(30) a. (バーベキューでの調理中, 目下/疎遠者/家族以外に話しかけられて)

ima niku jaki=juu. / *jai=teuu.

今 肉 焼く=PROG.NPST / 焼く=RES.NPST

「(私は)今, 肉(を)焼いている。」

b. (バーベキューでの調理中, 目下/疎遠者/家族に話しかけられて)

ima niku jaki=juu. / *jai=teuu.

今 肉 焼く=PROG.NPST / 焼く=RES.NPST

「(私は)今, 肉(を)焼いている。」

5. アスペクト形式の待遇解釈

5.1. 機能重複と待遇解釈の関係

- ▶ 高知方言: 聞き手の違いによる形式選択は行われない

(31) a. (バーベキューでの調理中, 目下/疎遠者/家族以外に話しかけられて)

moo *niku jaki=juu. / jai=teuu.

もう 肉 焼く=PROG.NPST / 焼く=RES.NPST

「(私は)もう, 肉(を)焼き終えている。」

b. (バーベキューでの調理中, 目下/疎遠者/家族に話しかけられて)

moo *niku jaki=juu. / jai=teuu.

もう 肉 焼く=PROG.NPST / 焼く=RES.NPST

「(私は)もう, 肉(を)焼き終えている。」

5. アスペクト形式の待遇解釈

5.2. YORU・TORU・TERUの待遇解釈

- ▶ 島根石見方言：聞き手が「家族以外/疎遠者以外」か「家族/疎遠者」かによる形式選択

(32) a. (バーベキューでの調理中, 友人に話しかけられて)

ima niku ?jak=**jooru**. / jai=toru. / ?jai=**teru**.

今 肉 焼く=**PROG.RUD.NPST** / 焼く=PROG.NPST / 焼く=**PROG.POL.NPST**

「(私は)今, 肉(を)焼いている。」

5. アスペクト形式の待遇解釈

5.2. YORU・TORU・TERUの待遇解釈

- ▶ 島根石見方言：聞き手が「家族以外/疎遠者以外」か「家族/疎遠者」かによる形式選択

(32) b. (バーベキューでの調理中, 家族に話しかけられて)

ima niku jak=**jooru**. / ?jai=toru. / ?jai=**teru**.

今 肉 焼<=**PROG.RUD.NPST** / 焼<=PROG.NPST / 焼<=**PROG.POL.NPST**

「(私は)今, 肉(を)焼いている。」

c. (バーベキューでの調理中, 初対面の同僚に話しかけられて)

ima niku ?jak=**jooru**. / ?jai=toru. / jai=**teru**.

今 肉 焼<=**PROG.RUD.NPST** / 焼<=PROG.NPST / 焼<=**PROG.POL.NPST**

「(私は)今, 肉(を)焼いている。」

5. アスペクト形式の待遇解釈

5.2. YORU・TORU・TERUの待遇解釈

- ▶ 島根石見方言：聞き手が「家族以外/疎遠者以外」か「家族/疎遠者」かによる形式選択

(33) a. (待ち合わせでの待機中, 友人から電話がかかってきて)

moo seki *suwar=jooru. / suwat=toru. / ?suwat=teru.

もう席 座る=PROSP.NPST / 座る=RES.NPST / 座る=RES.POL.NPST

「(私は)もう, 席(に)座っている。」

5. アスペクト形式の待遇解釈

5.2. YORU・TORU・TERUの待遇解釈

- ▶ 島根石見方言：聞き手が「家族以外/疎遠者以外」か「家族/疎遠者」かによる形式選択

(33) b. (待ち合わせでの待機中, 家族から電話がかかってきて)

moo seki *suwar=jooru. / suwat=toru. / ?suwat=teru.

もう席 座る=PROSP.NPST / 座る=RES.NPST / 座る=RES.POL.NPST

「(私は)もう, 席(に)座っている。」

c. (待ち合わせでの待機中, 初対面の同僚から電話がかかってきて)

moo seki *suwar=jooru. / ?suwat=toru. / suwat=teru.

もう席 座る=PROSP.NPST / 座る=RES.NPST / 座る=RES.POL.NPST

5. アスペクト形式の待遇解釈

5.2. YORU・TORU・TERUの待遇解釈

- ▶ 島根石見方言：聞き手が「家族以外/疎遠者以外」か「家族/疎遠者」かによる形式選択

TORU:D [-rude, -polite] / YORU:R [+rude, -polite] / TORU:P [+polite, -rude]

表30 島根石見方言におけるアスペクト形式のランキングと待遇解釈の関係

待遇価	形式	島根石見方言
High	TERU	P
	TORU	D
Low	YORU	R

5. アスペクト形式の待遇解釈

5.3. YORUとTORUの待遇解釈

- ▶ 奈良県南部方言：聞き手が「疎遠者以外」か「疎遠者」かによる形式選択

(34) a. (バーベキューでの調理中, 友人に話しかけられて)

ima niku jak=jooru. / ?jai=toru.

今 肉 焼く=PROG.NPST / 焼く=PROG.POL.NPST

「(私は)今, 肉(を)焼いている。」

b. (バーベキューでの調理中, 初対面の同僚に話しかけられて)

ima niku ?jak=jooru. / jai=toru.

今 肉 焼く=PROG.NPST / 焼く=PROG.POL.NPST

「(私は)今, 肉(を)焼いている。」

5. アスペクト形式の待遇解釈

5.3. YORUとTORUの待遇解釈

- ▶ 奈良県南部方言：聞き手が「疎遠者以外」か「疎遠者」かによる形式選択

(35) a. (待ち合わせでの待機中, 友人から電話がかかってきて)

moo seki *suwar=jooru. / suwat=toru.

もう 席 座る=PROSP.NPST / 座る=RES.NPST

「(私は)もう, 席(に)座っている。」

b. (待ち合わせでの待機中, 初対面の同僚から電話がかかってきて)

moo seki *suwar=jooru. / suwat=toru.

もう 席 座る=PROSP.NPST / 座る=RES.NPST

「(私は)もう, 席(に)座っている。」

5. アスペクト形式の待遇解釈

5.3. YORUとTORUの待遇解釈

- ▶ **奈良県南部方言: 聞き手が「疎遠者以外」か「疎遠者」かによる形式選択**

YORU:D [-rude, -polite] / TORU:P [+polite, -rude]

表31 近畿以西方言におけるアスペクト形式のランキングと待遇解釈の関係

待遇価	形式	近畿以西方言
High	TERU	/
	TORU	
Low	YORU	D

5. アスペクト形式の待遇解釈

5.3. YORUとTORUの待遇解釈

▶ 鳥取県東部方言：聞き手が「家族以外」か「家族」かによる形式選択

(36) a. (バーベキューでの調理中, 友人に話しかけられて)

ima niku ?jak=**jooru**. / jai=toru.

今 肉 焼く=**PROG.RUD.NPST** / 焼く=PROG.NPST

「(私は)今, 肉(を)焼いている。」

b. (バーベキューでの調理中, 母親に話しかけられて)

ima niku jak=**jooru**. / ?jai=toru.

今 肉 焼く=**PROG.RUD.NPST** / 焼く=PROG.NPST

「(私は)今, 肉(を)焼いている。」

5. アスペクト形式の待遇解釈

5.3. YORUとTORUの待遇解釈

▶ 鳥取県東部方言：聞き手が「家族以外」か「家族」かによる形式選択

(37) a. (待ち合わせでの待機中, 友人から電話がかかってきて)

moo seki *suwar=jooru. / suwat=toru.

もう 席 座る=PROSP.NPST / 座る=RES.NPST

「(私は)もう, 席(に)座っている。」

b. (待ち合わせでの待機中, 家族から電話がかかってきて)

moo seki *suwar=jooru. / suwat=toru.

もう 席 座る=PROSP.NPST / 座る=RES.NPST

「(私は)もう, 席(に)座っている。」

5. アスペクト形式の待遇解釈

5.3. YORUとTORUの待遇解釈

- ▶ 鳥取県東部方言：聞き手が「家族以外」か「家族」かによる形式選択

TORU:D [-rude, -polite] / YORU:R [+rude, -polite]

表32 鳥取県東部方言におけるアスペクト形式のランキングと待遇解釈の関係

待遇価	形式	鳥取中東部方言
High	TERU	/
	TORU	
Low	YORU	R

5. アスペクト形式の待遇解釈

5.4. TORUとTERUの待遇解釈

- ▶ 愛知尾張方言：聞き手が「疎遠者以外」か「疎遠者」かによる形式選択

(38) a. (バーベキューでの調理中, 友人に話しかけられて)

ima niku jai=toru. / ?jai=teru.

今 肉 焼く=PROG.NPST / 焼く=PROG.POL.NPST

「(私は)今, 肉(を)焼いている。」

b. (バーベキューでの調理中, 初対面の同僚に話しかけられて)

ima niku ?jai=toru. / jai=teru.

今 肉 焼く=PROG.NPST / 焼く=PROG.POL.NPST

「(私は)今, 肉(を)焼いている。」

5. アスペクト形式の待遇解釈

5.4. TORUとTERUの待遇解釈

▶ 愛知尾張方言：聞き手が「疎遠者以外」か「疎遠者」かによる形式選択

(39) a. (待ち合わせでの待機中, 友人から電話がかかってきて)

moo seki suwat=toru. / ?suwat=teru.

もう 席 座る=RES.NPST / 座る=RES.POL.NPST

「(私は)もう, 席(に)座っている。」

b. (待ち合わせでの待機中, 初対面の同僚から電話がかかってきて)

moo seki ?suwat=toru. / suwat=teru.

もう 席 座る=RES.NPST / 座る=RES.POL.NPST

「(私は)もう, 席(に)座っている。」

5. アスペクト形式の待遇解釈

5.4. TORUとTERUの待遇解釈

- ▶ 愛知尾張方言：聞き手が「疎遠者以外」か「疎遠者」かによる形式選択

TORU:D [-rude, -polite] / TERU:P [+polite, -rude]

表33 近畿以東方言におけるアスペクト形式のランキングと待遇解釈の関係

待遇価	形式	近畿以東方言
High	TERU	P
	TORU	D
Low	YORU	

5. アスペクト形式の待遇解釈

5.4. TORUとTERUの待遇解釈

▶ 大阪摂津方言：聞き手が「目下以外」か「目下」かによる形式選択

(40) a. (バーベキューでの調理中, 同僚に話しかけられて)

ima niku ?jai=**toru**. / jai=teru.

今肉焼く=**PROG.RUD.NPST** / 焼く=PROG.NPST

「(私は)今, 肉(を)焼いている。」

b. (バーベキューでの調理中, 部下に話しかけられて)

ima niku jai=**toru**. / ?jai=teru.

今肉焼く=**PROG.RUD.NPST** / 焼く=PROG.NPST

「(私は)今, 肉(を)焼いている。」

5. アスペクト形式の待遇解釈

5.4. TORUとTERUの待遇解釈

▶ 大阪摂津方言：聞き手が「目下以外」か「目下」かによる形式選択

(41) a. (待ち合わせでの待機中, 同僚から電話がかかってきて)

moo seki ?suwat=**toru**. / suwat=teru.

もう席 座る=**RES.RUD.NPST** / 座る=RES.NPST

「(私は)もう, 席(に)座っている。」

b. (待ち合わせでの待機中, 部下から電話がかかってきて)

moo seki suwat=**toru**. / ?suwat=teru.

もう席 座る=**RES.RUD.NPST** / 座る=RES.NPST

「(私は)もう, 席(に)座っている。」

5. アスペクト形式の待遇解釈

5.4. TORUとTERUの待遇解釈

- ▶ 大阪摂津方言：聞き手が「目下以外」か「目下」かによる形式選択

TERU:D [-rude, -polite] / TORU:R [+rude, -polite]

表34 近畿中央方言におけるアスペクト形式のランキングと待遇解釈の関係

待遇価	形式	近畿中央方言
High	TERU	D
	TORU	R
Low	YORU	

LowランクのYORUは待遇形式として使用されている

→ **待遇形式へのプロセス**:アスペクト形式の段階でRの待遇解釈を獲得 >> 待遇形式

6. 結論と考察

6.1. 結論

▶ アスペクト形式のランキングと待遇解釈の関係

表35 西日本諸方言におけるアスペクト形式のランキングと待遇解釈の関係

待遇価	形式	方言 I	方言 II			方言 III
		近畿中央	鳥取東部	島根石見	近畿以東	近畿以西
High	TERU	D		P	P	
	TORU	R	D	D	D	P
Low	YORU		R	R		D

- ▶ 待遇解釈は、基本形式と非基本形式の**機能重複**がある場合に限り発生する
- ▶ **待遇形式へのプロセス**: アスペクト形式の段階でRの待遇解釈を獲得 >> 待遇形式

6. 結論と考察

6.2. 考察

- ▶ アスペクト形式の文法化におけるムード化と待遇化の相違

問題提起

近畿中央方言のYORUは、なぜ、卑罵性に向かって待遇化したのだろうか？



ムードのような事態内容を重視

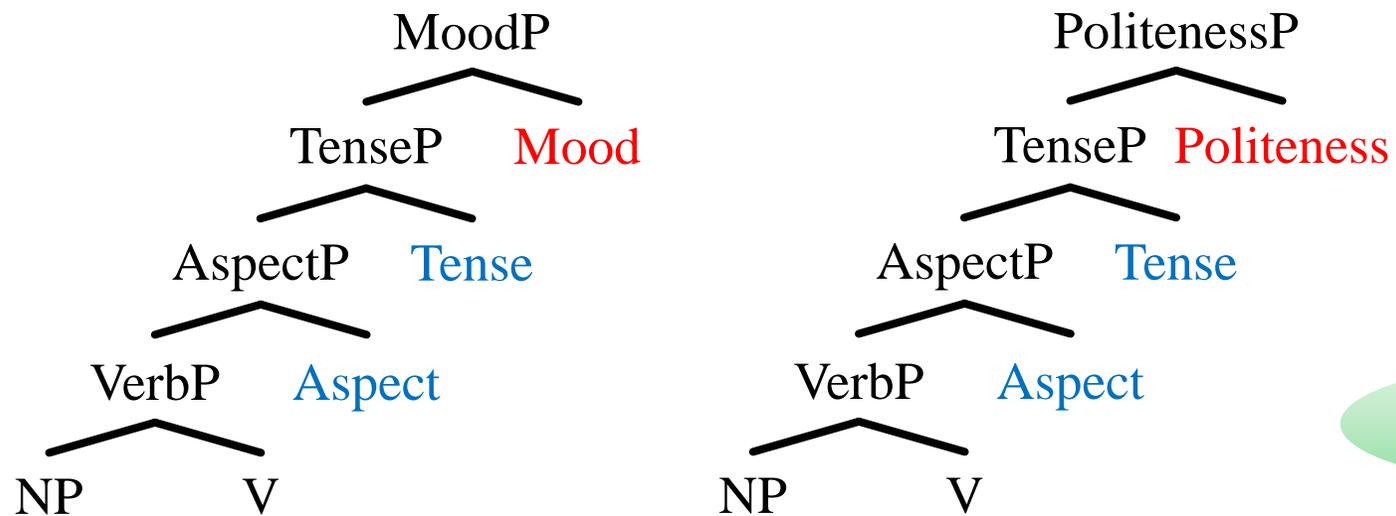


待遇のような対人関係を重視

6. 結論と考察

6.2. 考察

- ▶ アスペクト形式の文法化におけるムード化と待遇化の相違



階層構造の相違

図12 TAMの階層構造とTAPの階層構造

【謝辞】

本研究を進めるにあたり、多くの方言話者の方々に多大なるご協力を賜りました。ここに記して心より感謝申し上げます。

【参考文献】

- Abbi, Anvita and Devi Gopalakrishnan (1991) “*Semantics of explicator compound verbs in South Asian Languages*,” *Language Sciences*. 13 (2), pp.161-180.
- Bybee, Joan L. and Perkins, Revere and Pagliuca, William (1994) *The evolution of grammar: Tense, aspect and modality in the languages of the world*. University of Chicago Press.
- Comrie, Bernard (1976) *Aspect*. Cambridge University Press.
- Harada, Shin-Ichi (1976) “Honorifics,” M. Shibatani (ed.), *Syntax and Semantics 5: Japanese Generative Grammar*. pp.499-561.
- Hopper, Paul J and Elizabeth Closs Traugott (1993) *Grammaticalization*. Cambridge University Press.
- 井上文子 (1998) 『日本語方言アスペクトの動態－存在型表現形式に焦点をあてて－』秋山書店.
- 影山太郎 (2021) 『点と線の言語学－言語類型から見た日本語の本質－』くろしお出版.
- 木部暢子 (2019) 「奄美・沖縄の言語研究から－奄美方言のエビデンシャルティー」『東京外国語大学 国際日本学研究報告』5, pp.33-46.
- 小島裕将 (2017) 「岡山県岡山市方言」『全国方言文法辞典資料集(3)－活用体系(2)－』pp. 105-114.
- 国立国語研究所 編 (1999) 『方言文法全国地図 第4集－表現法編1－』財務省印刷局.
- 工藤真由美 (1995) 『アスペクト・テンス体系とテキスト－現代日本語の時間の表現－』ひつじ書房.
- 工藤真由美 (2014) 『現代日本語ムード・テンス・アスペクト論』ひつじ書房.
- Martinet, André (1962) *A functional view of language*. Clarendon Press.
- 松丸真大 (2017) 「高知県宿毛市方言」『全国方言文法辞典資料集(3)－活用体系(2)－』pp. 127-142.
- 中井精一 (2012) 『都市言語の形成と地域特性』和泉書院.
- 西尾純二 (2015) 『マイナスの待遇表現行動－対象を低く悪く扱う表現への規制と配慮－』くろしお出版.
- 野間純平 (2014) 「大阪府方言」『全国方言文法辞典資料集(2)－活用体系－』pp. 102-111.
- 真田信治 (2007) 「発話スタイルと方言」『シリーズ方言学3－方言の機能－』pp.1-25.
- 沈力 (2008) 「語気助詞ZHE2的来源－晋方言与北京方言的比較－」『晋方言研究－第三届晋方言国際学術研究会論文集－』pp.223-232.
- 寺村秀夫 (1984) 『日本語のシンタクスと意味II』くろしお出版.
- 山田敏弘 (2017) 「愛知県新城市作手方言」『全国方言文法辞典資料集(3)－活用体系(2)－』pp. 89-96.